

講 義			研究指導
一般教養科目	専門科目		
	履修モデル1: 基礎生命科学コース 生命科学基礎研究専門職 を目指す大学院生	履修モデル2: 応用生命科学コース 生命科学応用研究専門職 を目指す大学院生	
生命倫理(2単位・選択必修) その他の科目から2単位以上修得	(前期又は後期に開講 すべて2単位・選択) 分子生物学特論 細胞免疫学特論 生命情報科学特論 分子発生生物学 時間生物学特論 生体運命制御学特論	がんゲノム医科学特論 腫瘍発生学特論 分子免疫学特論 臨床医学概論 生体分子機能特論 分子病態学特論 実験医学特論	生命科学基礎(1単位・選択) 生命システム論(2単位・必修) 医学生物学英語特論(2単位・選択)
<p>【修士1年】</p> <p>特別研究1A(3単位・必修) 特別研究1B(3単位・必修) 生命科学特別演習1A(2単位・必修) 生命科学特別演習1B(2単位・必修)</p> <p>【修士2年】</p> <p>特別研究2A(3単位・必修) 特別研究2B(3単位・必修) 生命科学特別演習2A(2単位・選択) 生命科学特別演習2B(2単位・選択)</p>			

- ・研究指導計画書作成
- ・研究室内ゼミ発表
- ・アドバイザー教員面談
- ・中間発表会
- ・修士論文作成
- ・研究発表会及び審査

【授業科目の履修について】
 ・履修モデル1、2のいずれにおいても、指導教員と相談のうえ、各年次における学修計画をたて、1年次に各モデルに配置する授業科目を履修し、2年次に更なる自らの知識レベルの向上を目指すために自身が選択するモデル以外から授業科目を履修し、修得することが望ましい。
 ・履修モデル1、2のいずれにおいても、一般教養科目を積極的に履修し、修得することが望ましい。

【修了要件】以下の条件をすべて満たしていること。
 ①専門科目:必修18単位、選択8単位以上 一般教養科目:選択必修4単位以上 合計30単位以上を修得すること。
 ②修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

【修了後の進路】
 履修モデル1: 生命医科学分野の博士後期課程進学、各種研究機関の研究者など
 履修モデル2: 生命医科学分野の博士後期課程進学、医薬品・医療機器関係企業の研究職、技術職、開発職など